

出合い・感動!自己への挑戦

ヤンボラ新聞

ヤングボランティアセンター

No.4

平成23年3月18日発行
松山市堀之内
愛媛県美術館南館内
TEL-FAX 089-932-0160
メールアドレス
youngvolehime07@yahoo.co.jp

堀江公民館
通学合宿

気づき
考え
実行する



平成22年12月15日(水)
~12月18日(土)

期待と不安が交錯する中で...
あつという間の3泊4日!充実した活動に。

「住み慣れた自宅を離れて公民館で生活し、普段味わうことが出来ない経験を小学生にさせたい」という高校生スタッフの熱意と行動力によって実現した事業。今年度は、松山市の堀江地区で実施した。

(※昨年は久米地区)

高校生スタッフ12名と

堀江小学校の児童20名(4~6年生)は、公民館から学校に登下校し、三泊四日の行程で協力しながら寝食を共にした。

今回の目玉は、堀江地区で毎月行われているボランティア清掃への参加。そして、堀江公民館が企画した交流会(退所式後、通学合宿中にお世話になっ



→レシピを持って食材の買出し



→地域の方々と国道沿いのごみ拾い

「先を見通して行動することや、周りに常に気を配ることなど、社会に出た時、とても役に立つことを学びました。体力的にかなり疲れましたが、それ以上に満足できた合宿でした。」

参加した高校生
スタッフの感想

自分たちのことばかりでなく、周りや、また全体

福音公園を楽しい公園にしよう

高校生のアイデアでみんなに親しまれる公園へ

国道33号線小坂交差点高架下にある福音公園を、高校生のアイデアを生かし、地域の子どもたちにとって、安全で親しみのある公園にしていく活動。地域や学校、NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構などと協力して取り組んでいる。

平成17年から松山市久米地区では青少年健全育成連絡協議会を中心に、

小学生と「まちあるき」安全マップづくりを行った。その結果、福音公園について「楽しいけれど、怖い」と感じる子どもが多くいたことが判明した。そこで、平成21年に「福音公園を考える会」が結成された。

松山市立福音小学校や地域の方々からの依頼により、今年度からヤングボランティアセンターはNPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構とともに福音公園をより良い公園に

を見て行動する大切さを小学生との生活で学びました。今回の企画・運営にご協力いただいたボランティア関係者の方々に感謝し、今後役に立てるよう日々努力していくつもりです。



→地域の方々と交流会



→通学合宿後のスタッフ反省会

支援スタッフから

「合宿を企画した高校生は、準備から当日の運営まで、様々な形でボランティア活動への関わり方やすばらしさなどを学ぶこと



「退所式」高校生あいさつ

やさしい街づくり に一役

日本ガーディアンエンジェルズ松山支部、松山市役所の方たちと、一緒に松山市の大街道や銀天街で、自転車の乗り入れ禁止などマナーの向上を呼びかける活動を行った。今年度は4月10日、5月22日、9月20日の3回にわたり、のべ8名の高校生スタッフが活動した。大街道や銀天街では地元の方たちも日々、マナー向上を呼びかけており、少しでも貢献できるようにこれからも協力していきたい。



→大街道・銀天街での活動



なデザインを考えた。その結果、福音小学校の児童から四百個の手形を集め、「手形」で1枚のパネルに絵を描き、橋脚に貼ることとした。デザインのイメージは、タンポポと蝶を手形に入れるものとした。そして、小学生へ手形集めと公園づくりへの協力を呼び

び、この活動を「柱で遊ぼう!公園☆アート」とした。

第3回作戦会議(23年2月6日)では、公園づくりの案を小学生に提案できるように、絵の具体的な



→福音公園の見学



→福音小学校会議室での熱心な話し合い



→グループに分かれて具体的な話し合い

「活動の機会と場所の提案を受け、小学生の安心安全・地域課題解決のために企画、実践しています。高校生スタッフの姿勢は、終始ポジティブで現実的。福音公園に残すものは、作品だけでなく、まちづくりに寄与する高校生のボランティア力だと思います。」

NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構
仙波事務局長さんの話

「活動の機会と場所の提案を受け、小学生の安心安全・地域課題解決のために企画、実践しています。高校生スタッフの姿勢は、終始ポジティブで現実的。福音公園に残すものは、作品だけでなく、まちづくりに寄与する高校生のボランティア力だと思います。」

記念撮影のお手伝い

”松山城”と”しまなみ海道”で活動



平成22年7月25日・31日、8月1日・8日、今年度から新たに取り組む活動、「シャッターボランティア」を松山城で実施した。

気軽に参加できるボランティア活動をしたい！と調べているうちに「シャッターボランティア」という活動を知った。長野県上田市、新潟県上越市、北海道札幌市などで行われており、観光客のカメラのシャッターを押すボランティアである。カメラは誰かがシャッターを押さなければならぬ。つまり、誰か1人は写真に写ることができないというのだ。せっかく松山に来ていただいている観光客の方々に多くの思い出を残して欲しいと思い、挑戦しようと考えた。

私たちが活動場所として選んだのは松山城。松山市役所や松山城事務所に協力していただき、6月に松山城の観光客の状況を調査した。松山城では天守閣を背景に記念撮影できる場所は3か所あった。本丸広場では坊ちゃん



→松山城を背景に記念撮影のお手伝い



↑シャッターボランティアに取り組んだ高校生スタッフ

とマドンナが観光客のカメラのシャッターを押していたが、観光客が多く大変そうだった。ここで私たちがその役ができれば、観光客と坊ちゃん、マドンナが一緒に記念撮影でき、観光客の方にも喜ばれるだろうと感じた。また、天守閣の中には甲冑試着コーナーが設けられており、甲冑の着付けや記念撮影のお手伝いもすることとなった。松山城でシャッターボランティアをするので、観光客の方に喜んでいただき、松山の良い思い出づくりのお手伝いができるとの思いが強まった。

第1回目の7月25日、どのくらいの高校生が集まったのか楽しみ半分、不安半分だった。しかし、26名の高校生が集まり、今回の活動のために作成した揃いのTシャツを着て、みんなで作った看板を立て、活気ある活動をする事ができた。高校生スタッフのほとんどが最初は恥ずかしがっていたが、慣れるにつれて観光客の方と会話できるようになった。

この活動の発案者で準備・企画を行うなどリーダー役を務めた山内菜摘さん(松山西中等教育学校6年)は「県外から来られた方から松山の印象を伺うことができ、改めてふるさと松山の良さを認識しました。貴重な経験を

することができたと思います。家族や仲間が全員そろった写真が1枚でも増えるよう、松山の魅力を少しでも多くの方に感じてもらえるよう今後も継続していきたい。」と力を込めて語った。

平成22年11月3日(文化の日)に「松山城」と「しまなみ海道(来島海峡展望館)」で「シャッターボランティア」を実施した。

松山城だけでなく他の観光地でもシャッターボランティア活動に取り組むたいと、第2回スタッフ会議

で意見が出た。今治の高校生スタッフから、しまなみ海道で実施したいとの強い要望があり、今治市役所の協力を得て、しまなみ海道で実施することとなった。今治での活動場所は、今治と大島を結ぶ世界初の三連吊り橋である来島海峡大橋を背景に記念撮影ができる来島海峡展望館で行うこととした。

当日、松山城ではイベントも開催され、総勢21名の高校生スタッフが松山と今治で「シャッターボランティア」に松山&今治」に取り組んだ。

今治での活動に取り組んだ村上俊也さん(今治工業高等学校2年)は「自分たちの住んでいる地域にあるしまなみ海道が、多くの人に愛されていることを改めて感じることができました。遠方から家族連れや自転車で行き来している人などたくさんの人たちがいて、とても嬉しく思いました。今回、普段関わることのない他校の生徒たちと協力して活動することができ、とても良かったです。また機会があればぜひ参加したいです。」と熱く語った。

今年度も愛媛県立図書館や各種イベント会場で実施した。

今年も読み聞かせ活動継続



絵本や紙芝居のお話を子どもたちに

今年度も7月に愛媛県立図書館ボランティアグループ「おはなし☆グミ」の丸山康子先生による絵本や紙芝居の読み聞かせ講習会を開催した。その後、練習会を経て、愛媛県立図書館での「おはなしの会」はなし会」で読み聞かせ活動に取り組んだ。また、「こども博 第10回KID'Sフェスタ」(アイテム愛媛)などイベント会場でも「えひめ紙芝居おはなし会」とともに、子どもたちへ読み聞かせを行った。

この活動に熱心に取り組んでいる山内玲奈さん(北条高校2年)は「回数をおこなううちに、子ども

ちと自然にふれあえるようになりました。人前に出て話すことが苦手だったのですが、少しずつ話ができるようになり、とても楽しくなりました。普段あまり接することのない子どもともふれあうことはとても貴重な経験でした。子どもたちが喜んでくれると、やりがいを感じます。」と嬉しそうに語った。

この活動に取り組んでいるのは女子生徒が大半だが、数少ない男子生徒である門田亮磨さん(今治工業高校3年)は「絵本を読むだけなので簡単だと思っていたが、思っていたよりも間の取り方などが難しく大変でした。実際に子ども

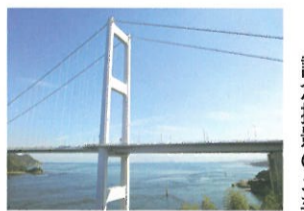
の前で読み聞かせをする時は、とても緊張したけれど、何回も取り組むうちに慣れてきました。ほかの学校の生徒と一緒にとても楽しく活動ができ、また参加したいと思います。」と話した。

子どもたちと汗だくに

→読み聞かせをする高校生スタッフ

血液不足解消を目指す

今年も愛媛県赤十字血液センターと協力し、献血の呼びかけを行った。松山市(愛媛大学)、西条市(パルティフジ東予店)、松前町(エミフルMASA AKI)で総勢49名の高校生スタッフが活動した。今後も血液不足解消に少しでも貢献したい。



今年も愛媛県赤十字血液センターと協力し、献血の呼びかけを行った。松山市(愛媛大学)、西条市(パルティフジ東予店)、松前町(エミフルMASA AKI)で総勢49名の高校生スタッフが活動した。今後も血液不足解消に少しでも貢献したい。

ヤンボラの活動にご協力いただいた方々

- ・NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構
- ・福音公園を考える会
- ・久米公民館
- ・素鷲公民館枝松町内会
- ・株式会社 世田谷社
- ・福音小学校PTA
- ・松山市堀江公民館
- ・堀江地区まちづくりコミュニティ協議学社 合推進部
- ・ふるさとを愛する風の会
- ・松山市食生活改善推進協議会 堀江支部
- ・堀江小学校PTA坊ちゃんクラブ
- ・愛媛県立図書館ボランティアグループ「おはなし☆グミ」
- ・えひめ紙芝居おはなし会
- ・NPO法人ぶちすてっぷ
- ・大学生ボランティアネットワーク「4-Rings」
- ・日本ガーディアン・エンジェルズ松山支部
- ・伊予鉄道株式会社鉄道部
- ・松山城総合事務所
- ・愛媛県赤十字血液センター
- ・松山市
- ・産業経済部観光産業振興課、市民部市民参画まちづくり課、都市整備部公園緑地課
- ・今治市産業部観光課
- ・来島海峡展望館

(順不同)

編集後記

ヤンボラをもっと楽しく、面白く、自由にボランティアが出来るところにしたいと思っていた。最初のスタッフ会議で今年度の活動内容について話し合った。新たな活動となるシャッターボランティアを成功させるためにはどうすれば良いかなど、高校生の忌憚のない意見が溢れた。シャッターボランティアをしている！とすぐに分かってもらうためにグッズを作ろうということになり、Tシャツや看板を作った。

スタッフ会議やシャッターボランティアでは、資料づくりなど準備はとも大変だった。大勢の前で司会をするのは初めてで不安だった。終わってから「ちゃんと話、伝わった？」とさくくと、「大丈夫」と答えが返ってきたので安心した。同時に、達成感も湧き起こり、これからもっと頑張っていきたいとヤンボラにしていきたいと思った。

《新聞作成スタッフ》
山内 菜摘(松山西)
門田 亮磨(今治工業)
浅井 映理奈(松山西)
山内 玲奈(北条)

ヤングボランティアスタッフ募集!!

〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県美術館南館内
TEL・FAX:089-932-0160
メールアドレス:youngvolhime07@yahoo.co.jp

＜わくわくは、ホームページをご覧ください。＞ ヤンボラ

一緒に活動してみませんか?